

# とどろみの森学園だより



年末特別号

平成 22 年(2010 年)12 月 24 日発行

箕面市立止々呂美小学校  
箕面市立止々呂美中学校



自分発見 ひと発見 未来発見 ~わくわく体験 のびのび失敗 どんどん挑戦~

ホームページアドレス <http://www.city.minoh.osaka.jp/todorominomori/>

## オーサービジット 大好評!! 杉山 亮(すぎやま あきら)さんが来園!!



「あいうえおの勉強」を熱演する杉山 亮さん

「どうやって、おもしろい作品をつくるのでしょうか」と杉山 亮さんに質問する2年生



杉山亮さんの紹介：1954 年東京生まれ。都内の保育専門学校を卒業後、東京都利島村の村立保育園などに勤務し、7 年間保育に携わる。30 歳でおもちゃ作家に転身し、40 代からは児童書や絵本のテキストを書き始める。「用寛さん本伝」「あなたも名探偵シリーズ」など著書多数。2006 年から山梨県小淵沢に在住。

## 読書百遍 義自ずから見る どくしょひゃっぺん ぎ おのずからあらわる

12 月 7 日(火)小学生の朝礼で校長先生が話された言葉です。

昔中国の董遇という人の言葉で、「難しい文章でも繰り返し読めばその意図はわかってくる」という意味で、乱読(いろいろな本を手当たり次第に読むこと)を戒め、熟読(じっくり何度も読むこと)を勧めた言葉です。

「読書百遍意自ずから通ず」(魏志)とも、単に「読書百遍」と省略して言うこともあります。みなさんに本をじっくり何度も読むことを勧めたお話でした。

読書は、自分の世界を広めます。できるかぎり、何度も読みかえしていくことで、それまで読んだときには、知り得なかった(思い浮かばなかった)「新しい世界」を見つけることができるかも知れません!! どうぞ、この冬休みじっくり腰を落ち着けて、読書にチャレンジしてみるのもいいですね。

「箕面・世界子どもの本アカデミー賞」の一環で、受賞作家の学校訪問が市内で行われていますが、本校には 12 月 3 日に『もしかしら名探偵』の作者、杉山亮さんが来て下さり、1 年生から 6 年生の児童が「物語ライブ」を楽しみました。どんなお話だろうとワクワクしていましたが、杉山さんは期待をはるかにこえる、それはもう、おもしろい、おかしなお話をしてくださいました。道に迷った女の人を家に泊めてあげたら、その人は高級なセーターを毎日編んでくれ、ちょっと不思議に思ったので、その人の部屋をのぞいてみたら……、という本当にあった(?) お話で、みんな爆笑! おはなしてこんなに面白いものだったのです。その後も、興奮冷めやらず、杉山さんの本は図書館でまだまだ読まれています。作家と出会えて、本がまた少し身近になったという貴重な経験ができました。

図書館司書 右田ユミ



この言葉を読める人は、いるかなあ?・・・  
まちがっても、いいよ・・・  
また、どんな意味が分かるかな?



## ◆事務室からの お知らせ◆ 1月11日(火) 諸費引き落とし日です

年明けすぐですので、お気をつけ下さい。  
よろしくお願い致します。

## 5~9年生 球技大会行われる 12月7日(サッカー)

さすが、中学生!  
巧みなドリブルで相手をかかれています。



せっしゃも、そんな言葉を聞くと、  
うれしいお〜!!

12 月 7 日(火) 5~9 年生が 6 チームに別れて、晴天の下、球技大会が行われました。7~9 年生は、期末テストを終えたばかりでしたが、その「疲れ」を吹き飛ばすぐらい、大いに汗を流しながら、楽しんでいました。

## 3年生 ゆずマーマレード作り 見学 12月3日(とどろみ生活改善グループ)



おいし〜い!!こんなに、おいしい  
ゆずマーマレード!初めて!

どこへ行ったら、買えるのですか?



12 月 3 日(金)、3 年生は、「とどろみタイム科」の学習で、ゆずマーマレード作りの見学に出かけました。入る前からゆずのいい香りがして、みんなはもうすっかり「ゆず」のとりこに!!  
ぐつぐつとゆずを煮て、マーマレードが作られていく様子を真剣な眼差しで見っていました。その後、ゆずマーマレードを塗ったパンをごちそうになり、またお土産までいただき、本当にありがとうございました。

## 花いっぱい運動



12 月 10 日(金)、児童生徒会役員が中心になって、1~9 年生全員でプランターにパンジーの花やチューリップの球根を植えました。  
来年の春には、チューリップの花が咲き誇っていることでしょう。

## お知らせ



12 月 1 日から、中学校養護教諭国時道代が、病気休暇をとることになりました。その間、講師として野守知雅子教諭が着任することになりました。よろしくお願いいたします。

## 学校協議会 開催



12 月 7 日(火) 2 回目の学校協議会がありました。とどろみの森学園からは、箕面市学力・学習状況調査、体力調査の結果、来年 1 月 21 日の文部科学省の研究開発指定・最終研究発表会のこと、2 学期の学校の様子などについての報告をしました。続いて、とどろみ幼稚園から、園児の様子や閉園式(来年 3 月 25 日)などについて報告がありました。その後、各委員さんから、学校園への質問や意見などが出され、有意義な協議会を持つことができました。委員の皆様、ありがとうございました。

来年 1 月 21 日(金)「研究開発学校」指定研究発表会があります。詳しくは後日お知らせします。

今年 最後に

早いもので、平成 22 年（2010 年）も間もなく暮れようとしておりますが、今年も一年間保護者・地域の皆様方には様々な面で、本当にお世話になりました。心よりお礼申し上げます。



さて、いきなり私事で恐縮ですが、私の趣味はトリの写真を撮ることです。

今年、たまたまシジュウカラの巣立ちの場面に立ち会うことができました。

親鳥は、ヒナが巣立つように巣穴の奥に向かって、盛んに外へ出るように合図を送っています。でも、なかなか出てきません。今度はエサを持ってきて、それを見せて、誘い出そうとします。でも、やっぱり出てきません。それでも、親鳥はしつこく、出てくるよう催促しています。そんなことを5分以上でしょうか、繰り返した後、ようやく1羽のヒナが出てきました。すると、あとは次から次へと出てきました。全部で12羽。親鳥が近くの松の木の方に向かって飛んでいくと、そのあとを追うようにヒナたちも飛んでいきます。その姿は実にあやうい飛び方で、中にはまるで落ちていくようなヒナもいます。すると、親鳥はどうしているのかと見ると、余り遠くには行かず、まるで見守るかのように少しずつ少しずつ飛んでいくのです。なかなかやって来ないヒナには、鳴き声で誘導しています。やがて、シジュウカラの親子は、林の奥の方へ消えていきました・・・。

野生のトりの世界では、種類によって子育てのやり方も千差万別で、必ずしも巣立ちまで（親鳥が）見守るトリばかりではありません。中には、子育てどころか、卵を温めることすらせずに、他の鳥の巣に預けるような種類もあります。（もちろん、それは托卵という習性であって、人間の視点から見ること自体おかしいのかも知れませんが・・・）

まあ、それはともかく、親鳥の行動に何とも言えぬ安堵感を覚えたひとときでした。実は昨年同じ巣穴で、中にいたシジュウカラのヒナがへびに襲われて、みんな食べられてしまったのです。トリ写真仲間からその話を聞いていただけに、余計今年はどうにか無事に育ってくれることを願わずにはいられなかったのです。

ヒナたちが無事に育ってほしいことを願って親鳥が見守っていたように、私たちも「とどろみ」の子どもたちが健やかにたくましく育っていくことを願って、これからも見守っていきたくて考えています。

それでは、みなさま来年も どうぞよい年でありますように。

小学校教頭 六車



とどろみで見つけた

今年の1枚！！

私が今年撮った写真の中で一番気に入った写真を紹介させていただきます。

選んだのは、10月16～17日に止々呂美地区で行われたお祭りでの一コマです。（宵宮）

女の子（さくらちゃん）が、（従姉妹の）お姉ちゃんに何かを「私にもちょうだい」とねだってる場面ですが、余りにもかわいかったのでパチリ！と写させていただきました！



4月 合同入学式1・7年生



5月 9年生修学旅行



6月 8年生 表現活動発表会



8月 盆踊り大会 中学生生徒会



7月 幼稚園・中学生 水泳交流



9月 幼小中 合同運動会



10月 3・4年生 文化フェスタ



11月 3～6年生 アドベンチャー



12月 2年生 おいもパーティ

2010年4月～12月